

新城の風 第43号

長崎県立壱岐商業高等学校
壱岐市勝本町新城西触282
電話：(0920)42-0205
FAX：(0920)42-0024
URL：http://www.news.ed.jp/iki-ch/

一期一会

教頭 宮崎 伸一

「いっきいっかい」と読まない。「いちごいちえ」と読む。「いちご」といってもストロベリーではない。このような注釈を添えることにも何故か慣れてきた。

「一期一会」、よくお茶会の席で使われる言葉である。Yahoo!辞書によると、
①茶道の精神性を説いた用語の一つ。今日の一会は生涯に二度とない会だと思ひ、主客ともに親切実意をもって交わることが肝要であるという心得を教えたもの。

②一生に一度だけの機会。と記載してある。日常生活では、“出会いを大切に”という意味でもよく使われている。出会いがその後の人生を大きく左右することから、よくこの言葉が用いられる。

私もこれまで多くの人と出会ってきた。人との出会いにより、その時・その後の生き方について考えさせられ、今の自分がある。また、仕事の転勤等でいろんな土地とも出会った。故郷の島原、佐世保、五島、いずれも素晴らしい環境に恵まれ、何不自由することなく生活してきた。（気づかぬところで多大な迷惑をおかけしたと反省もしている。）

そして壱岐。3月に転勤が決まり、生まれて初めてこの土地に上陸した。赴任が決まった時、壱岐での勤務経験者の方々から、口を揃えて良いところだよと言われた。交通の便がいい、焼酎がおいしい、食べ物おいしい等々。4月に赴任してから多くの出会いがあった。先生、生徒、保護者、地域の方々。皆さん方から温かく歓迎していただいた。感想を一言で言うと、本当に人情味あふれる温かいところだなという印象である。（冬の寒さは相当厳しいらしいが。）

また、住宅に帰ると単身の私を気遣ってか、いろいろ出てきた。アリ・ムカデ・クモ、そしていつのまにかカビ。こちらには申し訳なかったが、多様な撃退法を学ばせていただいた。

さて、近年では私の郷里も含め離島地区でも、過疎化・人口減少・高齢化などといった多くの問題を抱えている。壱岐の良さは、と聞かれたら迷わず「人の温かさ」と答える。しかし、人の温かさは目に見えづらく形で表現しにくい。地域活性化に向け、故郷

壱岐をどげんかせんばと、市民は皆が思っている。壱岐で生まれ、壱岐で育ち、そして壱岐の地との出会い。商業を学ぶ生徒諸君に壱岐の良さを活かし、さらに新しい良さを発見し、是が非でもこのこの素晴らしい壱岐を守ってほしい。多くの出会いを経て多くを学び、そして課題を解決して行ってほしいと期待する。

文章が下手、しゃべりがダメな私も残りの人生、これまでの出会いに感謝し、さらにこれからの新しい出会いを楽しみに、多くを学んでいきたい。「一期一会」を大切に共に頑張りよう。



2学期 ～思い出がいっぱい～

3年生夏季補習・面接練習
前期:7月23日～8月7日
後期:8月18日～8月22日



今年度も3年生を対象とした就職・進学試験のための補習が実施されました。基礎的知識の確認とその定着を目指し特訓。また、どの生徒も最低10回の面接練習をこなしました。一番苦労したのは履歴書作成だったようです。夜遅くまで残って仕上げた生徒もかなりいたようです。

1年生職場見学(1年生) 壱岐島内の様々な職場を見学しました。

- 1年1組 あまごころ本舗→上村真珠→壱岐の蔵酒造
- 1年2組 芦辺ケリテライフセンターつばさ→ホテルステアト太安閣→壱岐ビジョン株式会社
- 1年3組 壱岐市社会福祉協議会勝本事業所《かざはや》 → 富士新幸九州工場→テクノス



文化祭 11月1日(土)

今年度は、文化祭テーマ「煌(きらめき)～壱岐商の華～」を表現した生徒会によるオープニング劇で始まりました。

今年度最優秀企画賞に選ばれたのは3年3組の劇「転校生がやってきた!?Ⅱ」、謎の転校生を中心に繰り広げられる学校生活での場面を演じ、観客を楽しませてくれました。また、2年1組の階段アート、2年2組の劇「現代版!ちびまる子レンジャー☆」なども好評でした。校内を歩き回り、ハロウィンのキャラクターに仮装した人からスタンプを集めて回る2年3組のスタンプラリーも新しい取り組みでした。1年生にとっては初めての文化祭でしたが、クラス全員が一致団結して仕上げることができました。文化部は、壱州荒海太鼓部や吹奏楽部による演奏があり、日ごろの練習の成果を発表しました。また、販売実習「壱岐商館」(第2体育館)の食物バザーもあり、楽しい1日を来校された方々とともに過ごすことができました。



ブック・フェア 11月 読書週間

本校では、朝読のために各クラスに学級文庫を設置していますが、年に1回学級文庫の本を生徒に提供しています。1人5冊まで無料で本をもらうことができます。



新人戦 10月～11月

バレーボールとバスケットボールを残し、運動部の新人大会が終了しました。今年はソフト部の活躍に加えて、陸上部が好成績を残しました。中上友星君が400Mで決勝進出を決めました。

2年生「ふるさと商人」
職場体験学習
12月3日～12月9日

2年生壱岐島内の様々な事業所で職場体験学習をさせていただきました。お世話になった事業所の皆様、大変ありがとうございました。生徒の今後の職業選択に役に立つことと思います。

進路ガイダンス～専門学校について学ぶ～

10月30日(木)、1・2年生を対象に、進路ガイダンスを実施しました。島外の大学・短期大学・専門学校より講師をお招きし、販売・フード・美容・看護・保育・情報処理などの17の講座別に各業界の現状や仕事内容、必要とされる資格や適性について説明をしていただきました。各講座ごとに様々な事を実際に体験することで、生徒一人一人が職業に対する理解を深めることができる良い機会となったようです。

自動車整備について学びました。説明を聞いたのちに、実際に幾つかの作業をやってみて、車の整備にますます興味が出てきました。

ホテルマンの説明会に参加。受付だけでなく、テーブル・セッティングについても学ぶことができとても有意義でした。



コンピュータ専門学校の先生に来ていただいて、沢山の専門的なことを教わりました。卒業後の進路についても具体的な話を聞きました。



スポーツトレーナーになるための専門学校の説明に参加しました。トレーナーの方と一緒に体幹を鍛えるための運動をしました。



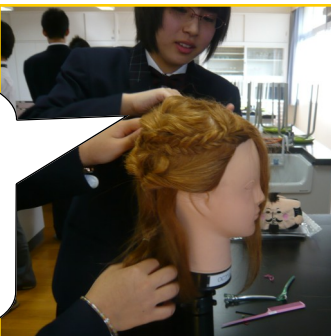
美術デザインの専門学校の方から話を聞きました。実際にアクセサリーを作る作業を通して、色の組み合わせの大切さや面白さについて学ぶことができ、デザインについてますます興味が出てきました。



メイクについて学びました。紙の上に印刷された顔の絵に実際にメイクをする講習を受けました。メイクにはお客様の個性を引き出すという役割があり、楽しい時間を過ごしました。



美容専門学校の説明を聞きました。お客さまがどのようなスタイルを希望されているかを知るための、コミュニケーション力が必要です。また、ウィッグを使って編込みの練習もし、有意義な時間となりました。



受験体験発表会

3年生の先輩からのメッセージです。
1・2年は進路意識を高めよう！

12月17日(水)、3年生の受験体験報告会を実施しました。13名の3年生が、それぞれの立場で1・2年生に進路実現に向けて苦労したことや、その過程で後輩に知っておいて欲しいことなどについて話をしました。その時の3年生からのメッセージをまとめています。

●進路室で情報収集
進路室に行くとき色々な情報を得ることができます。過去の求人票や各種学校の案内などがあります。
●遅刻や欠席数が多いと受け付けてもらえない企業もあります。3年間で欠席が3日以内の企業もあります。

●適性検査
基礎的な漢字の書き取りはもちろんですが、企業により出題される内容が異なります。早めに過去の出題内容を知り準備に取り掛かる必要があります。最近ではSPIが出題されることが増えています。

●履歴書
作成に思ったより時間がかかります。日ごろからきれいな字で書くよう心がけて下さい。
●漢字の「とめ、はね」などに注意し、「合格したい」という気持ちで書き、受験先の企業などに対して、意欲を見せましょう。

中原聖悟（3年情報処理科）長崎高等技術専門校

私は、長崎高等技術専門校で建築について勉強します。県が運営するこの高等技術専門校には、私が思うに、利点が3つあります。

まず、一つ目は様々な最新の設備が整っていて技術を学ぶことができます。機械加工制御科では全国に数台しかないという機械があり、貴重な体験ができます。

二つ目は高い就職率です。長崎高等技術専門校では毎年100%の就職率を誇っています。就職先は九電工やトヨタ、三菱など大企業もあり、努力次第で安定した会社に就職できます。

三つ目は、授業料が無料だということです。専門学校や国公立大学は入学してから卒業するまで最低でも200万かかってしまいます。しかし、長崎高等技術専門校では授業料をすべて県が負担してくれます。個人が負担するのは教科書代や作業服代などで年間に10万ほどです。両親への経済的な負担を軽減することになります。

私がここを受験するきっかけになったのは3年の夏休みに色々悩んでいた際、進路室に立ち寄り先生に相談し長崎高等技術専門校のパンフレットを見せられたことです。興味を持ち実際に長崎まで行きました。自分の目で見るということはとても大切だと思います。

私は建築に興味があったので建築の方を重点的に見学しました。実際に木材を加工し組み立てており、こんなこともできるんだと思いながら見学をしました。ここを受験する決め手となったのは、寮が校内にあることや、技術の向上や知識の獲得に力をいれていること、私が目指す資格を取得できるチャンスがあることです。

長崎での学校見学から帰ると、願書等の書類準備と面接練習で忙しくなりました。私は学校から推薦していただき、推薦試験を受けました。推薦試験は一般試験の1ヶ月前に実施されますが、推薦試験を受けるには評定平均値の基準を満たし、出席状況が良いことが最低条件です。私は書類などを揃えるのに時間がかかってしまい、面接練習に十分な時間をかけることができませんでした。満足いく面接内容が完成しないまま試験当日を迎えることになってしまい不安でいっぱいでした。

試験当日は、一般常識、適性検査、400字程度の作文に続き面接がありました。グループ面接の場合もあると聞いていましたが、私は1対3の個人面接でした。私は試験当日までとても忙しい状況だったので後輩の皆さんには十分余裕を持って準備を進めてほしいと思います。